豊受大神宮 外宮

とようけだいじんぐう（げぐう）

天照大神のお食事を司る神の豊受大神をおまつりしています。内宮創建から500年後に山田原に迎えられました。衣食住をはじめあらゆる産業の守り神です。

御饌殿 みけでん

地元産アワ・ひえ・大豆・大根・清酒・大神を始めとする神々を合祀するための御殿。お供えする神饌（しんせん）は、毎朝おこした清浄な火「忌火」（いみび）を使用して忌火屋殿で調理される。

正宮 しょうぐう

正殿を中心とする社殿は内宮と同じ様式ですが、柱本は5本で千木は垂直に切られています。また、社殿の配置が異なります。

土宮 つちのみや

大土乃御祖神（おおつちのみおやのかみ）を祭つる別宮（べつぐう）です。
古くから山田原（やまだはら）の鎮守（ちんじゅ）の神として崇められ、伊勢湾岸全域（いせわんがんの地主の神として敬まわれています。

神楽殿 かぐらでん

ご祈祷（きとう）のお参進（さんしん）や奉納（ほうのう）を行う殿舎です。
お札やお守りも授与しています。
建造時代風の重厚が美しい建物です。

風宮 かぜのみや

風の神をおまつりする別宮（べつぐう）です。
鎌倉時代の荒風（けんぷう）との戦、参拝（さんぱい）を防ぎ世で日本を守りになった神として知られています。

手水舎 てみずしゃ

参拝前に心身を清めます。
手水（てみず）の作法は、左手・右手の順で手を清め、左手に水を受（う）けて口をすすぐ。最後に左手を洗い流しましょう。柄杓（ひしゃく）に直接口をつけないのが礼儀です。

多賀宮 たかのみや

豊受大神（とようけのおおかみ）の別宮（べつぐう）をおまつりする別宮（べつぐう）です。
山の里から見ると高宮（たかのみや）と呼ばれていました。

せんぐう館 せんぐうかん

式年遷宮の資料館です。外宮正殿の模型・神宮の調整工程・遷宮祭の模様などが展示されています。シアター・検索コーナーなども充実しており、神宮や遷宮について深く知ることができます。
外宮所から歩いて約5分。お時間のある方は、ぜひ立ち寄ってみましょう。
参拝者から歩いて約5分。お時間のある方は、ぜひ立ち寄ってみましょう。舞台では郷土芸能などの公演が催されます。

● せんぐう館　利用案内 ●

開館時間：9:00～16:30（入館は16:00まで）
休館日：毎月第4火曜日（祝日の場合は翌日）
問合先：☎ 0596-22-6263

神宮 ～お伊勢まいりは外宮から～

伊勢神宮は日本人の心のふるさとといわれ、「お伊勢さん」「大神宮さま」とも呼ばれ、親しまれています。正式名称は「神宮」といい、宇治の五十鈴の川上にある皇大神宮（内宮）と、山田原にある豊受大神宮（外宮）の両大神宮を中心として、14所の別宮、43所の摂社、24所の末社、42所の所管社があります。

「神宮」はこれら125の宮社の総称でもあります。

▼内宮へは近鉄「宇治山田駅」より内宮行きバスが約15分 ▼外宮へは近鉄・JR「伊勢市駅」より歩き約5分 ▼内宮間もバスが利用できます。
▼車では、伊勢自動車道「伊勢西インター」から、外宮・内宮ともすぐ近く。

神宮司庁 広報室

〒516-0023 伊勢市宇治館町1　TEL 0596(24)1111(代)
http://www.isejingu.or.jp/